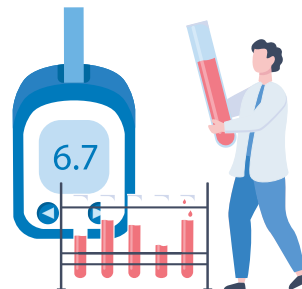


Q 糖尿病に 初期サインはありますか？

答えてくれたのは けいしょう内科クリニック 陳 慶祥 院長

糖尿病は、インスリンの働きが弱くなるなどの原因で、血液中の糖分が高くなる病気です。初期のうち、ほとんどの方は無症状です。「のどの渇き」や「頻尿」などが初期症状と言われていますが、これらは糖尿病がかなり進行した後に現れます。そのため、日頃から病院や健康診断で定期的に検査を受けることが大切です。



「糖尿病」は初期段階でも 心筋梗塞・脳梗塞の発症リスクに

糖尿病の初期段階では、ほとんどの方が無症状です。しかし、血糖値が高い状態が続くことで血管にダメージを与え続けると、神経・目・腎臓などに障害を引き起こします。

そのため、糖尿病の方や肥満傾向の方、糖尿病のある方が家族にいる方など、発症のリスクが高い方は、専門医による、定期的な検査や治療を受けることをおすすめします。当院では、糖尿病のある方一人ひとりの生活スタイルにあわせて、食事・運動療法の相談、経口薬、インスリン注射、インクレチン注射などの治療を行っています。血液検査の結果がすぐ

にわかる点もポイントです。

糖尿病が進行すると、「失明する」「足を切る」というイメージを持たれる方は多いでしょう。医療の進歩により、今は昔と比べて、治療法の選択肢が増えています。早期に治療を始めれば、普段通りの生活が送れることも珍しくありません。まずは定期的に健診を受け、少しでも引つかれば受診してください。早期の発見と治療、そして、治療を途中で中断せずに通院を続けることが大切です。

今回教わったのは…

けいしょう内科クリニック
陳 慶祥 院長

内科医。三重大学医学部医学科卒。神戸大学大学院医学系研究科修了・博士号取得。2009年より高槻病院糖尿病内分泌内科で勤務。2024年高槻市に「けいしょう内科クリニック」開院。

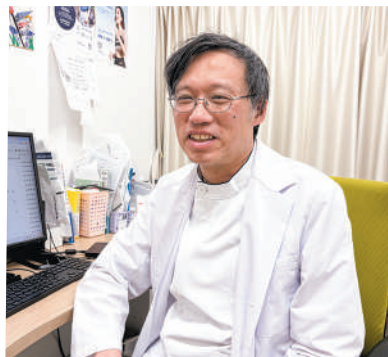
陳先生が教える 糖尿病のポイント

糖尿病＝
尿に糖が出る病気？



血糖値が高い状態が 続く病気です

糖尿病は、病名の印象から「尿に糖が出る病気」と思われがちですが、糖尿病の初期段階では尿に糖が出ないことも多いです。糖尿病への誤解を解消するため、日本糖尿病協会では、糖尿病に代わる新名称「ダイアベティス」を提案しています。



高槻市で医師人生の約半分を過ごしてきた陳先生。「末永く高槻の医療に貢献したい」という思いのもと、2024年5月に開院。

けいしょう内科クリニック

高槻市古曽部町2-13-22
診／9時～12時半(土曜9時～13時)
15時～16時(予約制)
16時～18時
休診／水・土・日・祝
☎072-681-0200

医院HPはこちら

